

こんにちは！野木町交流センター「野木ホフマン館」です。
今回の「つどい第5号」でお届けしますのは、概ね次のとおりです。

- 「野木ホフマン館」の近況・事業
- 野木町煉瓦窯のおはなし その⑤
- 自然豊かな渡良瀬遊水地 その④

【ホフマン館の近況と事業】

つどい第3号でご紹介させていただきました、「煉瓦のオブジェ」の周りに「殿堂入りバラ園」が完成しました。5月頃には荣誉あるバラたちが咲き誇ります。野木町煉瓦窯を囲むフェンスのバラも同時に咲き、煉瓦窯とのコラボが楽しみです。ご来館をお待ちしています。

※「殿堂入りのバラ」とは、世界バラ会連合（37カ国）が3年に1回開催される世界バラ会議で選ばれたバラです。今までに17品種が選定されています。



◆令和3年度絵画教室・煉瓦窯編が村田講師のご教示のもと11月20日に行われました。多くの方にご参加いただきありがとうございました。

◆陶芸ワークショップ「レンガ土でミニミニ植木鉢を作ってみよう！」が開催されました。親子で参加された方も多く、オリジナル植木鉢ができました。



野木町煉瓦窯のおはなし その⑤

野木町煉瓦窯は2階建てです。煉瓦は1階の焼成室で焼き、2階では煉瓦を焼くための燃料である粉炭を投げ入れ(投炭)、煙の流れを制御しました。煉瓦を焼いている焼成室のみに投炭し、煙道と煙突の間にあるダンパー(排煙調節器)を開けた煙道から排気するしくみです。

煉瓦が焼きあがったら、投炭する位置とダンパーを開ける位置を前へ進め、次の焼成室へ空気の流れに乗せて火を移動させることで、続けて煉瓦を焼くことができます。(つづく)

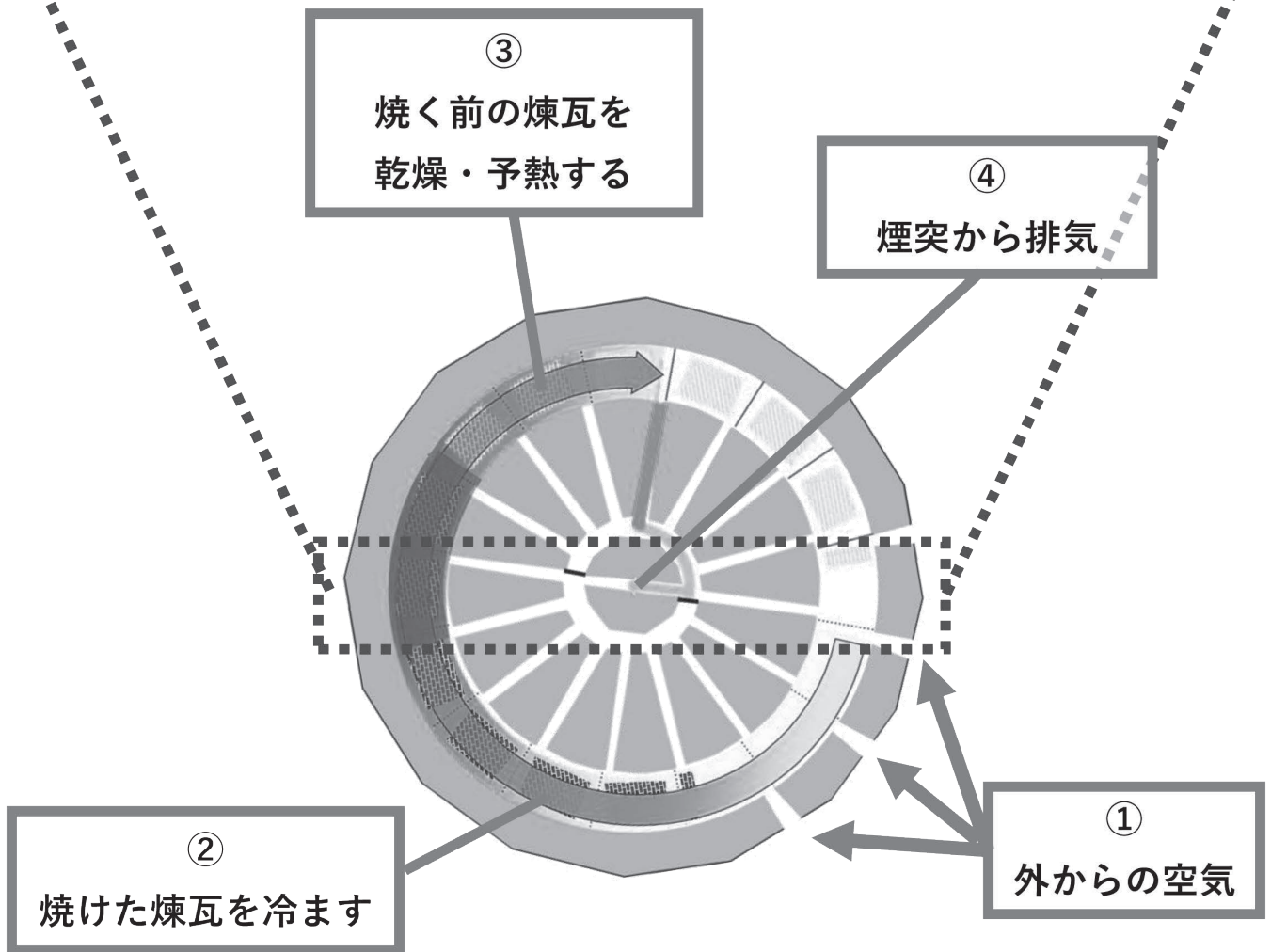
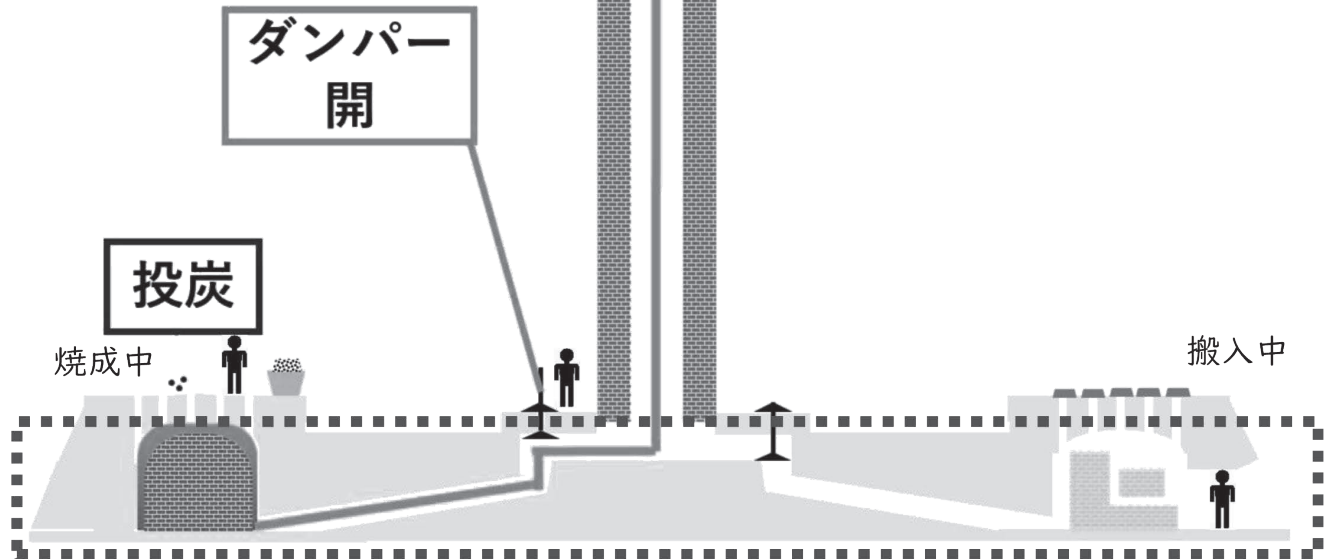


← 野木町煉瓦窯2階のダンパー。
上のハンドルを回して開閉しました。

↓ 煙道。各焼成室に1本ずつあり、煙はここからダンパーを通して煙突へと排気されます。



野木町煉瓦窯を横から見た図



野木町煉瓦窯の1階（焼成室）を上から見た図

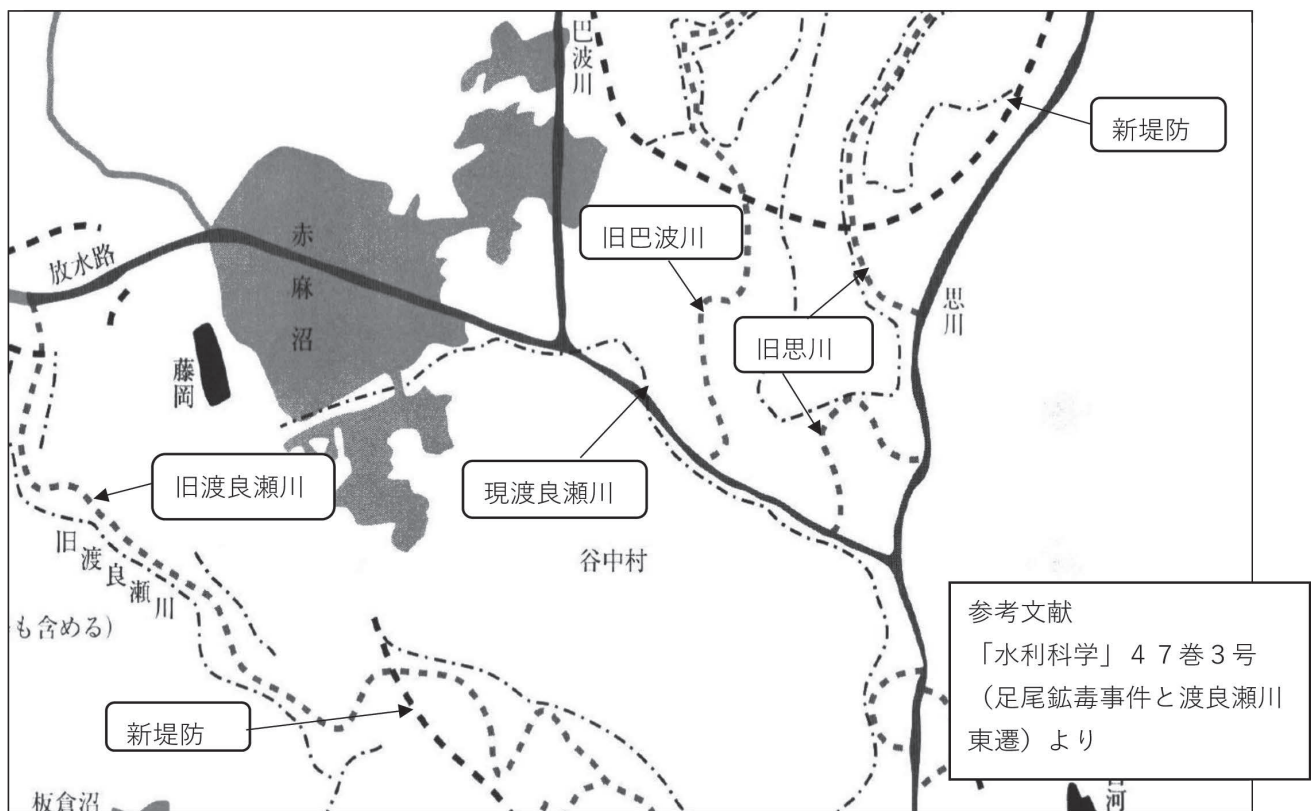
①～④の順に空気が流れていく

自然豊かな渡良瀬遊水地 その④

渡良瀬遊水地の造成 ～遊水地化事業～

明治43年8月に梅雨前線と台風により利根川流域に最大の被害をもたらした洪水が発生し、この被害は東海・関東・東北地方の全域に及び、この洪水を契機に利根川改修計画が改定されました。渡良瀬川改修計画は利根川改修計画に影響を与えないことが条件であり、これを可能にするには遊水地であると位置づけられていました。渡良瀬遊水地は、渡良瀬川改修計画(工事:明治43年～大正15年)の中心施設であり、治水はもとより、渡良瀬川を流下してきた土砂等を沈殿させる目的もあったのではとされています。(つづく)

下の図は渡良瀬川放水路・遊水地概略図で、渡良瀬川・思川・巴波川の旧河川と現在の河川を表わした図です。



渡良瀬遊水地の近況

渡良瀬遊水地は、平成24年にラムサール条約「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」湿地に登録され、国内で確認できる野鳥の約半分の260種以上が確認されています。四季を通して多くの野鳥が見られますが、冬に飛来する野鳥も多く見られます。澄んだ青空が広がる遊水地に出かけませんか。

野木町交流センター

(野木ホフマン館)

開館日：火曜日～日曜日

9:00～18:00

(月曜日が国民の祝日の場合は
開館、翌平日閉館)

〒329-0114

野木町大字野木3324-10

☎0280-33-6667